

3分でわかるSyteLine

製造業向け グローバルERPパッケージ

「Infor SyteLine」ご紹介資料

Infor SyteLineとは?

製造業に強い 中堅・中小企業向けERPパッケージ

「Infor SyteLine(インフォア サイトライン)」は、産業機械・機器、金属製造、ハイテク、電子業界など、製造業の幅広い業種に強いソリューションです。

多言語・多通貨・各国商習慣対応によるグローバル進出支援から、支社・工場など複数拠点の情報統合・管理効率化まで、国内外を問わず支援します。

販売から調達、製造、納品、保守・アフターサービスに至るまで主要なビジネスプロセスをすべてカバー。統合部品表管理、MRP、生産スケジューラーなどの豊富な機能により、中堅・中小製造業の生産性向上、顧客サービスの改善を実現します。

Infor SyteLineの対象企業

組立型製造業を中心に、製造業全般に対応します。全世界6,000拠点以上、アジア太平洋地域で1,400拠点以上、日本国内でも200拠点以上の導入実績を持ち、製造業界での25年以上にわたるシステム開発の経験がパッケージに組み込まれています。

対象企業

- ✓ 組立型製造業を中心とした製造業
- ✓ 企業規模:売上高20億円から1000億円程度の中堅企業
- ✓ 海外進出されている、あるいは、進出を検討されている企業
- ✓ 国内複数拠点におけるIT基盤の統合を検討されている企業

対象企業例

精密機器・一般機械／電機／半導体・電子部品／自動車・輸送用機器／刃物製造／接続機器・電子機器
／製造装置／要素機器／計測機器／金属加工／鉄鋼・非鉄金属／プラスチック成形／窯業・ゴム・ガラス・樹脂加工／繊維・パルプ・紙・生活用品／物流倉庫／その他製造業

Infor SyteLineの機能概要図

Infor SyteLine 機能概要図

- 標準モジュール
- 個別オプションモジュール +

販売管理

- 製品管理 +
- CRM・見積管理
- 受注・出荷管理

生産管理

- 基準生産計画
- 需要予測 +
- 統合部品表管理
- 所要量計画(MRP)
- 製造工程計画(APS) +
- 実績管理
- 進捗管理
- 現場管理(Factory Track) +

購買管理

- 購買／外注管理
- 購買見積 +

在庫管理

- 在庫管理

財務管理

- 財務管理
- ワークベンチ +

原価管理

- 原価管理
- プロジェクト

品質管理

- 品質管理(QCS) +
- フィールドサービス +
- トレーサビリティ

共通機能

- マルチサイト
- イベントシステム
- オーディット
- グローバル +
- 業界パック +
- 受給計画(PSI) +
- 取引先ポータル +

SyteLineは、販売から調達、製造、納品、保守・アフターサービスに至るまで主要なビジネスプロセスをすべてカバーしています。統合部品表管理、MRP、生産スケジューラーなどの豊富な機能により、中堅・中小製造業の生産性向上、顧客サービスの改善を実現します。

- ✓ SyteLineは、製造業の幅広い基幹業務をカバーする豊富なパッケージ機能群を有しています。
- ✓ ライセンスを購入すればどなたでも利用可能な「標準セットモジュール」と、業務やニーズにあわせてオプション購入いただく「個別オプションモジュール」の2つから成り立ちます。

Infor SyteLineの導入効果

1. 海外拠点の経営・生産の「見える化」

SyteLineは多言語・多通貨はもちろん、各国固有の法制度・商習慣にも対応します。日本拠点と海外拠点・海外子会社の基幹システムを統合することで、見えづらい・わかりづらいグローバル拠点の経営・生産の「見える化」を実現します。

海外拠点の経営・生産にSyteLineを導入するメリット

- ✓ 海外拠点の活動状況・経営状況をタイムリーに把握できる
- ✓ 海外拠点の環境や商習慣にマッチしたシステムをスピーディーに構築できる
- ✓ 海外拠点のガバナンスを強化することができる
- ✓ IT基盤の統一により、海外拠点の情報システム運用コストを削減できる

POINT 多言語対応

- 日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、オランダ語、スペイン語など、20言語以上の言語コンポーネントを提供可能です。
- ユニコード対応により、ひとつの環境で複数言語を使用することも可能です。
- ユーザーIDごとの言語設定が可能です。

POINT 多通貨対応

- 通貨・換算レートの設定により、使用取引通貨を無制限に使用できます。
- 多通貨間決済が可能です。
- お客さまのグローバル管理体制を強化することが可能です。

POINT 各国商習慣への対応

- カントリーパック(特定国の専用業務要件対応パック)の提供により、各国固有の商習慣に対応することができます。
- 日本をはじめ、中国、タイなど主要国のカントリーパックが用意されています。

Infor SyteLineの導入効果 2. 国内拠点のIT基盤の「統合・連携」

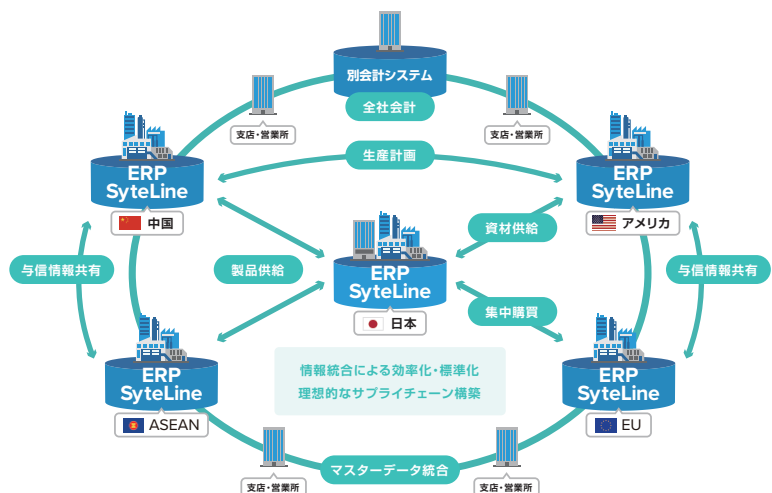
拠点ごとに異なるIT基盤のために、業務非効率が発生していませんか? SyteLineは同一のIT基盤上において、支社、工場、物流センターなど、拠点ごとの組織体制やニーズに合わせたシステムを構築することができます。それぞれの拠点間でマスターデータ、与信管理、在庫情報などの共有を行い、さらに製品供給、資材供給、生産計画、集中購買などの業務を拠点間で連携して行うことも可能です。情報統合による効率化・標準化で、理想的なサプライチェーンを構築します。

国内拠点のIT基盤をSyteLineで統合・連携するメリット

- ✓ 国内拠点のIT基盤を統合しながら、各拠点のニーズにあわせたシステムを構築できる
- ✓ 拠点間の情報連携を緊密にすることで、サプライチェーンを最適化できる
- ✓ IT基盤の統合により、拠点間の業務プロセスの標準化や、人事異動が容易になる
- ✓ IT基盤の統一により、国内拠点の情報システム運用コストを削減できる

POINT マルチサイト

- SyteLineは、支社や工場など拠点単位でのシステム導入や、各拠点間の情報統合を容易にするための、マルチサイト機能を備えています。
- マルチサイト機能を利用することで、同一のIT基盤を利用しながら、お客さまの拠点、工場、物流センターごと、組織体に合わせたシステム導入が実現します。
- マルチサイト機能により、各拠点間における在庫移動・在庫検索を行うことができます。必要時にはサイト間での計画移動オーダーがシステムより自動作成されます。



3. 「生・販・在」含むすべての業務プロセス統合

SyteLineは、製造業の業務プロセスに必要とされる一連の機能を網羅しています。受注から販売、購買、生産、在庫、納品はもちろん、CRM、保守サービスに至るまで幅広く業務をカバーします。いわゆる「生・販・在」だけでなく、その他の業務もSyteLineの統合データベースで一箇所に統合管理を行うことで、シームレスな業務プロセスを実現します。

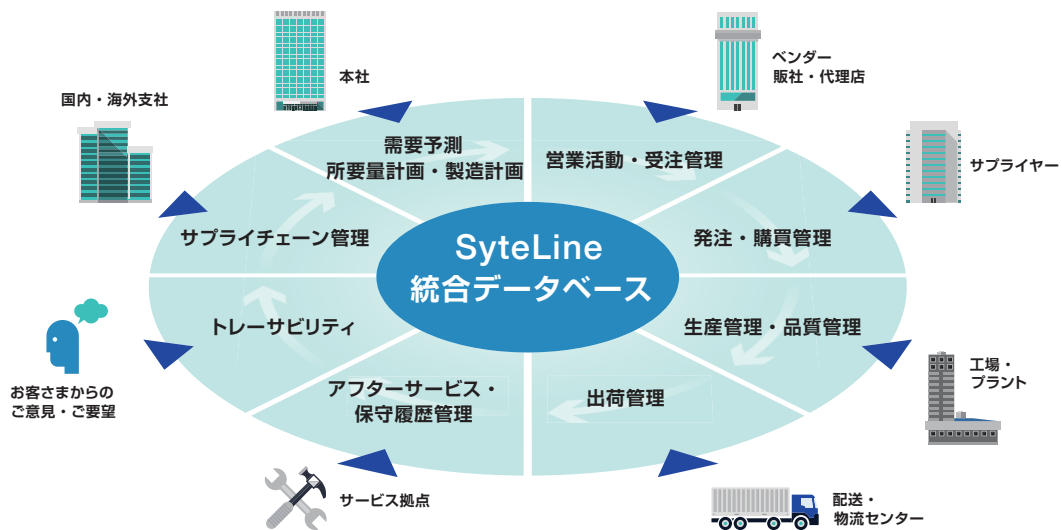
「生・販・在」含むすべての業務プロセス統合をSyteLineで行うメリット

- ✓ 部門間の業務連携により、作業品質の向上、コスト削減が実現する
- ✓ 部門間の情報共有により、顧客サービスや業務効率の向上が実現する
- ✓ 部門間で同一のIT基盤を利用することで、情報システム運用コストを削減できる
- ✓ 業務プロセスを一気通貫した内部統制を構築できる

POINT

統合データベース

- SyteLineは、販売・生産からCRM、保守サービスに至るまで、広範囲な業務データを格納できる統合データベースを備えています。情報の一元管理体制を実現することで、各業務間の連携強化や、業務効率の向上を実現します。



Infor SyteLineの導入効果

4. 「スモール&スピーディー」な改革の実行

SyteLineは、必要な機能だけのスモール導入に対応。全社的なERPパッケージとしての導入はもちろん、工場の生産管理システムや、保守サービスにおける顧客情報・保守契約管理システムなど、単独部門での利用にも対応します。ノンプログラミングによるカスタマイズツールでお客さまの業務プロセスに柔軟に対応するため、最短4か月程度の構築期間で、稼働をスタートすることができます。

SyteLineを部門内システムとして導入するメリット

- ✓ 部門内システムとしてだけでなく、全社の基幹システムとしても利用できる
- ✓ 全社導入の前に、まずは単独部門での利用からシステム利用をスタートできる
- ✓ ノンプログラミングによるカスタマイズが可能なため、部門ごとのユーザーニーズにきめ細かく対応できる

POINT 基幹業務をカバーする豊富なパッケージ機能群

- SyteLineは、販売管理から生産管理、購買管理、在庫管理、CRM、保守サービス至るまで、各部門の業務ニーズに対応する豊富なパッケージ機能群を備えているため、特定の部門向けのシステムとして利用することができます。

特定部門内システムとしての利用例

あるSyteLineユーザー企業さまは、既存顧客向けのアフターサービスを行う部門で、保守契約管理を行う目的でSyteLineを利用しています。SyteLineの「フィールドサービス機能」は、顧客に納入した製品の利用部品の管理や、定期的なメンテナンスの履歴管理・実施管理、補修やメンテナンスのナレッジを共有する機能を有しており、製造業のアフターサービスにおける様々なニーズに対応しています。請求書発行など経理処理もカバーしており、市販のCRMパッケージよりも幅広い業務範囲をカバーしている点が評価されています。

Infor SyteLineの導入効果

5. IoT・MESなど「製造業のデジタル革新」を支援

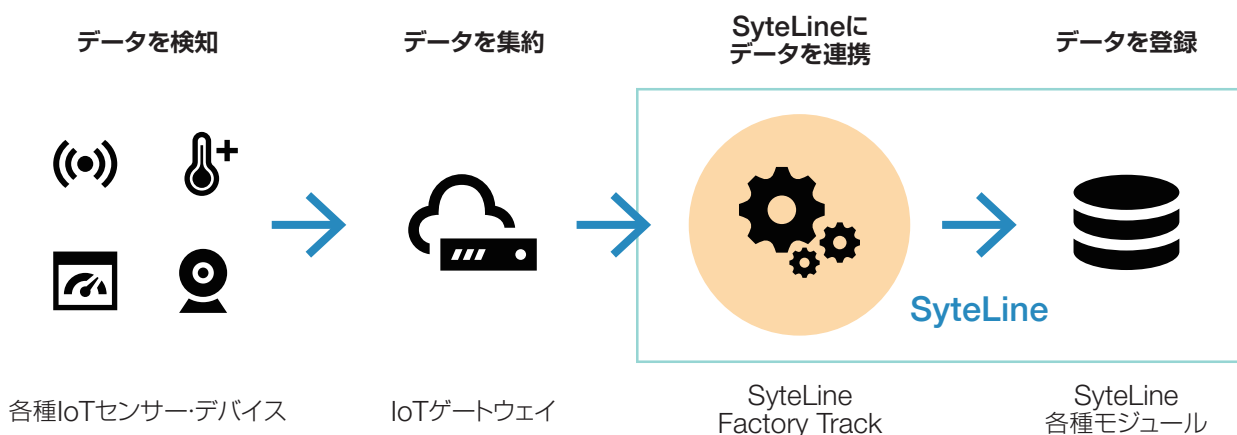
SyteLineには、スマートフォンやタブレット、バーコードリーダーなど多様なデバイスを利用してシステム運用を可能にする開発プラットフォーム「Factory Track」が用意されています。これを利用することで、倉庫や工場内に設置したIoTゲートウェイを介して、温度・湿度・照度・開閉・人感・加速度など様々な情報を収集し、生産現場の管理や可視化に生かすことができます。IoTやMESなど、デジタルがもたらす革新を御社のものづくりにも導入しませんか？

IoT・MESなど「製造業のデジタル革新」をSyteLineで推進するメリット

- ✓ 「Factory Track」とIoTデータ管理装置を連携させることで、倉庫や工場など製造現場の幅広い領域にIoT・MESを導入することが可能になります
- ✓ 日立グループ内に蓄積されたIoT・MES導入のノウハウを、御社の業務改善に役立てることができます

POINT 「Factory Track」がデジタルイノベーションを支援

- SyteLineに搭載されたオプションモジュール「Factory Track」は、スマートフォンやタブレット、バーコードリーダーなど多様なデバイスと連携し、SyteLineへの情報入力や、SyteLine内の情報参照を柔軟な形で行えることを可能にする開発プラットフォームです。「Factory Track」は、IoTデータ管理装置との連携も可能であるため、倉庫内や工場内で取得した温度、湿度、照度、開閉、人感、ビーコン、加速度など、様々な情報をSyteLineで管理し、情報を可視化することができます。



6. 「複雑化・多様化」する生産ニーズへの対応

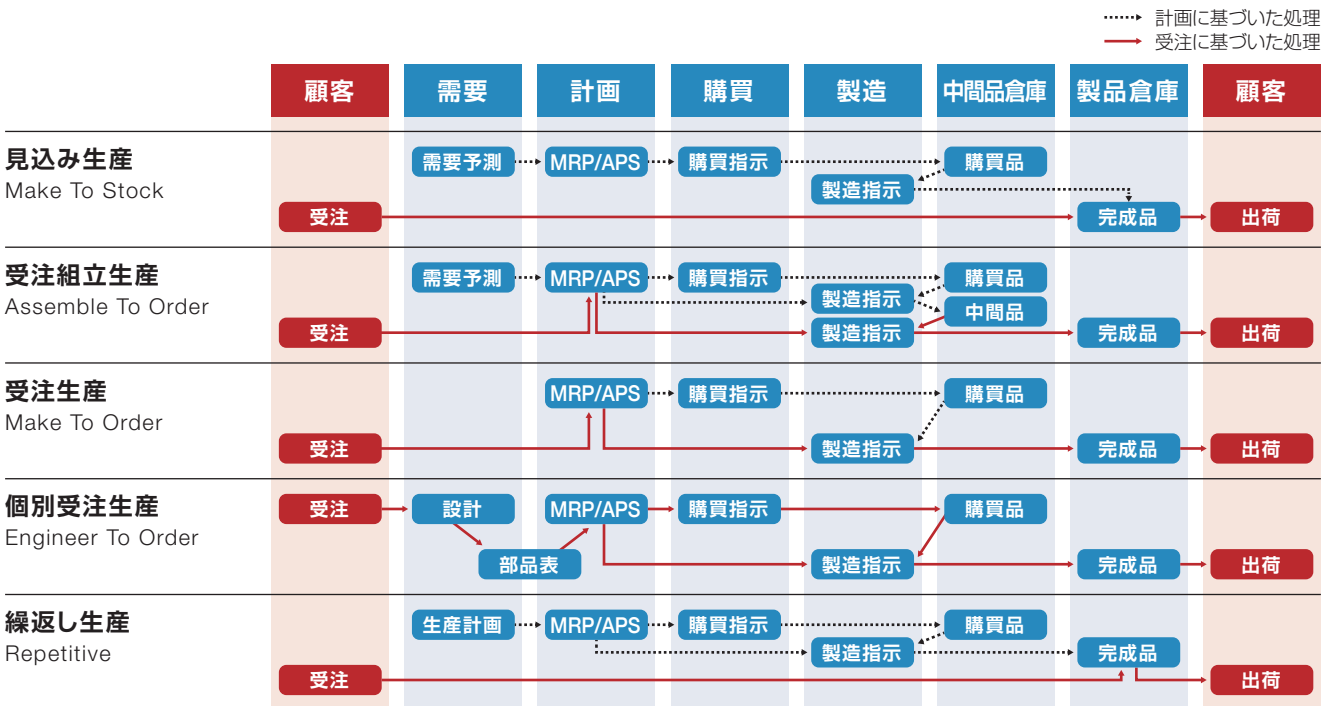
SyteLineは、ますます複雑化、多様化していく生産ニーズに応えるため、豊富な生産管理モジュールを搭載しています。受注生産、見込み生産、繰り返し生産などへの対応はもちろん、それぞれを組み合わせたハイブリッド型の生産形態にも対応します。刻一刻と移り変わる顧客ニーズ、市場ニーズへの対応を支援します。

SyteLine導入により生産業務にもたらされるメリット

- ✓ 受注生産、見込み生産など、様々な生産形態に対応できる
- ✓ 統合部品表管理、原価シミュレーション、MRP、APSなど、製造業で求められる様々なニーズに対応できる

POINT さまざまな生産形態に対応

- SyteLineは、見込み生産、受注組立生産、受注生産、個別受注生産、繰り返し生産など、さまざまな生産形態をサポートしています。また、複数生産形態の混在(ハイブリッド型)にも対応しています。お客さまの生産形態の変化に対して、柔軟に対応することが可能です。



※MRP: 資材所要量計画 / APS: 資材調達、工程負荷計画

Infor SyteLineの導入事例

日立システムズがSyteLineの導入をサポートさせていただいた企業の一例をご紹介します。

業種分類	年商	海外拠点の有無	上場有無
A社:精密機器・一般機械	100億未満	国内拠点のみ	-
B社:精密機器・一般機械	100億未満	国内拠点のみ	-
C社:電源機器	100億未満	国内拠点のみ	上場企業
D社:鉄鋼・非鉄金属	100億未満	海外拠点あり	-
E社:プラスチック製品	100億未満	海外拠点あり	-
F社:精密機器・一般機械	100億～500億未満	海外拠点あり	-
G社:精密機器・一般機械	100億～500億未満	海外拠点あり	上場企業
H社:電機	100億～500億未満	海外拠点あり	-
I社:製造装置	100億～500億未満	海外拠点あり	-
J社:鉄鋼・非鉄金属	100億～500億未満	海外拠点あり	-
K社:電機	500億～1000億未満	国内拠点のみ	上場企業
L社:プラスチック製品	500億～1000億未満	海外拠点あり	上場企業
M社:その他製造	500億～1000億未満	海外拠点あり	上場企業
N社:精密機器・一般機械	1000億以上	海外拠点あり	上場企業
O社:接続機器・電子機器	1000億以上	海外拠点あり	上場企業
P社:電機	1000億以上	海外拠点あり	上場企業
Q社:自動車・輸送用機器	1000億以上	海外拠点あり	上場企業
R社:電源機器	1000億以上	海外拠点あり	上場企業

巻末に、FAケーブルメーカーの太陽ケーブルテック株式会社様のInfor SyteLine導入事例をご用意しています。ぜひご覧ください。



太陽ケーブルテック様は、国内外に有する複数の工場や販売拠点、物流センターを通じて高品質の製品・サービスを提供できる体制を持ち、近年はアジア太平洋地域でのビジネスを加速しています。

その一環でタイ工場の生産管理を強化し、市場のグローバル化に向けた体制と内外環境の変化に迅速に対応できる情報基盤の確立のため、日立システムズと「Infor SyteLine」を採用しました。

Infor SyteLineの導入検討中の方へ

Infor SyteLineの導入ご相談から、資料請求、システムデモンストレーションのご依頼、お見積りのご依頼まで、さまざまなお問い合わせに迅速に対応いたします。

どんなことでもまずはお気軽にお問い合わせください。

商品のお問い合わせはこちらまで
www.hitachi-systems.com

 **0120-346-401**

受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日は除く)

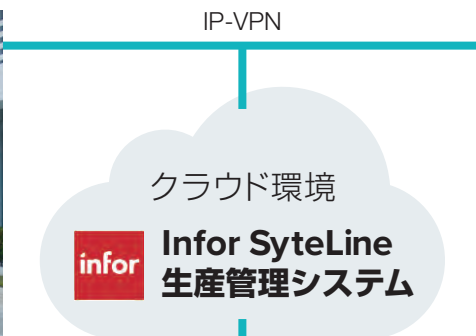
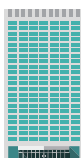
導入事例

太陽ケーブルテック株式会社様



TaiyoCabletec (Thailand)

日立システムズ
データセンター



太陽ケーブルテック (日本)



国内外すべての情報をつなぐ情報管理基盤として 日立システムズをパートナーに「Infor SyteLine」を採用

FAケーブルメーカーの太陽ケーブルテック様は、国内外に有する複数の工場や販売拠点、物流センターを通じて高品質の製品・サービスを提供できる体制を持ち、近年はアジア太平洋地域でのビジネスを加速している。その一環でタイ工場の生産管理を強化し、市場のグローバル化に向けた体制と内外環境の変化に迅速に対応できる情報基盤の確立のため、日立システムズと「Infor SyteLine」を採用した。

■ 導入前の課題

- 1 個別のExcelシートによる属人的な管理で、不均衡、不整合データが散見
- 2 ビジネス規模の拡大により、本部の意思決定に必要な生産・販売における情報共有にスピードが求められるように
- 3 受発注ミスなどの手違いや納期遅延のリスク発生など、生産・販売におけるトラブルの原因追跡が困難な状況

■ 導入後の効果

- 信頼性や妥当性が担保されたデータの取得が可能に
- 工程実績・進捗よく情報、発注・仕入情報、在庫情報などのリアルタイム確認が実現。判断スピードの迅速化を実現
- 調達、製造、販売、納品に至るプロセスが可視化され、納期の問い合わせにも迅速に回答できるなど、顧客サービス品質が向上



製造業向けグローバル統合基幹業務パッケージ Infor SyteLineの詳細はこちら >>>

<http://www.hitachi-systems.com/ind/syteline/>



導入の目的

アジアにおける生産拠点と営業網の構築にあたり
グローバルな情報基盤を確立したい

太陽ケーブルテック様は現在、日本だけでなく経済成長が著しい中国やASEAN諸国の発展を視野に入れた生産拠点と営業網を構築中だ。その一環として、2009年に建設したタイ工場の生産管理(原価、工程、在庫)を強化し、市場のグローバル化に向けた強固かつ内外環境の変化に迅速に対応できる情報基盤を確立したいと考えていた。2013年のアユタヤからアマタナコン工業団地への工場移転を機に、ビジネスを本格化するにあたって焦点となったのは、Excelを主体とする生産管理・販売管理の脱却。調達から製造、販売、納品までに至るプロセスを可視化するERPの導入が求められた。

選定のPOINT

技術、スピード、ワンストップサービスなど
総合的なソリューション力と海外導入実績を評価

多通貨・多言語に対応し多彩な生産管理機能を持ち、クライアントの要件をクリアしたERPパッケージ「Infor SyteLine」の導入にあたって、日立システムズは自社のデータセンターやクラウド技術、グローバルでの導入実績、インフォア社との連携、コンサルティングから設計・構築、運用、保守までのスピーディーなワンストップサービス、適切な費用など、総合力が評価された。また、タイでの現地サポートも提供することで、多様な生産形態や環境とともに変わるビジネス要件に対応できる体制を構築。パッケージの柔軟性および拡張性の高さを生かして、太陽ケーブルテック様からの要求に迅速に応えることにした。「国内のERPについてもリプレースを検討するタイミングでした。国内導入が前提だったため、パッケージの国内外の導入実績や、日立システムズ社、およびインフォア社のサポート体制も評価しました」(西宮氏)

導入の効果

意思決定に必要な情報をリアルタイムで共有
判断スピードが迅速化しサービス品質が向上

ERPを適用したのは、生産管理、財務会計、管理会計、在庫・購買管理、受注管理、出荷(受払)管理のエリア。工場のスタッフへ使用方法などをトレーニングすることで現場への定着化を促し、現在は業務情報が日々入力されている。これにより、工程実績・進捗情報、発注・仕入情報、在庫情報などをリアルタイムにつかみ、データの信頼性・妥当性を担保できるようにした。

「個別のExcelシートで管理していたために生じていたデータの重複や不整合がなくなりました。たとえば、欠品による納期遅延や過剰在庫などのリスクの発生を高精度に予測できるため、問題発見から予防策を講じるまでのスピードも迅速化しています」(タイ法人セールス・コーディネーター、Sineenart Muensook氏)

また、本日もWeb経由で「Infor SyteLine」にアクセスしてタイ工場の実態を精緻につかみ、的確な指示を出せる体制に。本部での意思決定のスピードがアップし、「たとえば、在庫保有コストを最小に止め、リードタイムを最短にする指示を出すだけでなく、お客さまの納期の問い合わせにもすばやく答えられるようになり、サービス品質も向上しています」。(タイ法人 ファクトリー・マネジャー 今井 哲也氏)

お客さまプロフィール

 太陽ケーブルテック株式会社

創 業：1923年
出 資 金：9,900万円
従 業 員：約300名(子会社含む)
代 表 者：谷口 直純
事業内容：電線および電線加工品の製造販売

 TAIYO CABLETEC (THAILAND) CO., LTD

設 立：2009年



TAIYO CABLETEC (THAILAND)
プレジデント
杉山 温 氏



ファクトリー・マネジャー
今井 哲也 氏



太陽ケーブルテック
管理本部 サブリーダー
西宮 宏志 氏

可動用・機器用電線、および電線加工品の製造・販売を手掛けるFAケーブルメーカー。国内外に複数の拠点を有し、耐屈曲性に優れたEXT-2シリーズや多関節用ロボットケーブルのEXT-3Dシリーズをはじめ、さまざまな使用環境に合わせたラインアップをそろえている。近年は、アジア太平洋地域でのビジネスを加速。中国やタイに構える工場では、国内と遜色のない高品質の製品・サービスを提供できる体制を構築している。

担当者の声

プロジェクトはタイから国内へ。
ASEAN諸国への成長をサポートする

現在、2016年1月に向けて国内でも「Infor SyteLine」の導入を進めていて、稼働後は国内、およびタイ工場の連結会計やリアルタイムな経営情報の可視化が実現する予定です。「タイ工場は日本ブランドの高品質な電線をASEAN諸国へベストプライスで提供するのがミッション」というタイ法人 プレジデント 杉山様のお言葉を実現し、太陽ケーブルテック様の事業がさらなる成長を遂げられるよう、サポートに尽力します。



日立システムズ
関西支社 第二営業本部 産業営業部
杉浦 哲也